

あすなろだより2・3月号

広島市立美鈴が丘高等学校 あすなろ会

担当 1-1、1-2、2-4、2-5



3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今回のあすなろだよりは3年生が活躍されたボランティア活動について、あすなろ部の先輩方が作成されたボランティアレポートを参考に振り返りたいと思います。

<まごころ弁当> (2019年 7月) 1年の夏



この活動は、地域のボランティアの方とともにお弁当を作り、そのお弁当を高齢者の方のお宅まで届けるというものです。一緒にお弁当配りに行ってくださった地域の方はお弁当をただ手渡すだけでなく、どの家でも10分ほど立ち話をして、会話の中で体調に変化はないかを問われていました。



私は、今回のまごころ弁当ボランティアの活動を通して地域活動の大切さを知りました。まごころ弁当を始めたくさんのあすなろ会でのボランティア活動を行うことによって、特に地域の活性化に取り組みたいという気持ちが強くなりました。

<フィリピン・セブ島へ文房具を> (2019年 12月) 1年の冬

2019年冬、校内で、フィリピン・セブ島の子どもたちに文房具を送る呼びかけをしました。集まった文房具を送るため、広島フィリピン友好協会で、ノートの分別やボールペンのインクの確認などの仕分け作業を行いました。セブ島には貧困のため学校に行けない子ども達がたくさんいるそうです。移動バスで文房具を貸し出して、移動バスの中で勉強してもらうのです。品質の良い日本製品はあげるとすぐ売却されるので貸し出します。…美高の皆さんの思いが届くといいなと思いました。

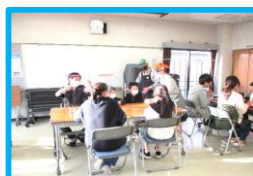


この活動を通して、世界には教育を受けるための十分な道具を持っていない子ども達が多くいることや、今まで知らなかった世界の現状を知ることで、国際協力に対する関心がさらに高まりました。将来、私は開発途上国の人々が豊かな生活を送るための手助けができる人になりたいと思っています。これから大学に進学して、実際に開発途上の現場へ足を運び、住民の話を聞くなどの活動にも参加してみたいと思っています。

<こども食堂> (2021年 3月・4月) 3年の始め



こども食堂は、コロナ禍で親の仕事が不規則になり、一緒にご飯を食べることのできなくなった家族や地域の人に、一緒に食べる機会を提供しようと始められました。美鈴が丘地区では、毎月第2土曜日の夕方に美鈴が丘公民館で開催されています。



地域の方に温かい声をかけていただき、回数を重ねるごとに上手く話せるようになり、自分の成長とやりがいを感じることができました。私は、あすなろ会での活動を通して社会性やコミュニケーション能力を養い、色々な場面での気遣いの大切さに気付くことが出来ました。

〈福祉バスツアー2019〉 (2019年 8月)1年の夏



この活動は福祉施設を訪問するというものです。2019年は乳児院と太田川学園を訪問しました。バスツアーの前に部活動で知的障がい者についての学習会を行って施設訪問をしました



この活動を通して人の個性を改めて意識することができ、障害の有無にかかわらず全ての人は、平等に助け合いながら生活を営むことができるのだと身をもって体験し、視野を広げることができました。



〈その他の活動〉 (2019年~2021年) 1年の夏休み



1年の夏休みはぶちボラや心身障害者センターの福祉講座に参加しました。手話を学びました。その他、車いすバスケットや点字のコーナーもありましたね。



1年の秋 千歳園芸術教室や太田川まつり、皆賀園まつりなど福祉施設のお祭りのお手伝いをしました。児童館祭りではゲームを提案し、準備しました。準備も楽しかったね。子どもたちも行列で並んでくれたよ。



とんど祭り 2020年1月



新型コロナウイルスの影響でボランティア活動が少ない中、自発的にできることを見つけ、積極的にボランティア活動に参加していただきありがとうございました。新しい生活様式で日常生活が大きく変化しても、先輩方のように奉仕の心を持ち、私たち後輩もボランティア活動に励んでいきたいと思えます。

先輩方もこの美鈴が丘高校で生活する中で得た思い出と共に、卒業後もボランティア活動に取り組み、充実した楽しい日々を送ってください！

これからの皆さんのご活躍を心からお祈りしております。



地域の人と「ウォークラリー」 2021年3月